

【緑地の樹】

サネカズラ(実葛)

プロフィール: マツブサ科サネカズラ属

常緑つる性木本

マンション側の斜面に背の低い、木とも思えない木があります。緑色のつややかな葉、それをちよつとめくってみると・・・丸いつぶつぶがくっついて球のようになった実がついています。まだほんのり紅いくらいですが、だんだんと真っ赤になることでしょう。

この木は、百人一首にも歌われています。

名にし負はば 逢坂山の さねかづら
人に知られで くるよしもがな

実は私は今まで、「人に知られて」だとばかり思っていました。名にし負はば(有名な)というくらいなのでみんな知っているのかと・・・全く逆でしたね。

サネカズラはビナンカズラという別名もあります。樹皮をはいで水に浸しておくとネバネバした液が出てきます、昔の人はそれを整髪剤に用いたとか。光源氏などはビナンカズラでおしゃれをしていたのかもしれない。

実が真っ赤になると目立ちますが、それまではあまり認識することはありません。でも、花もかわいいですよ。

(小川)



サネカズラの雌花